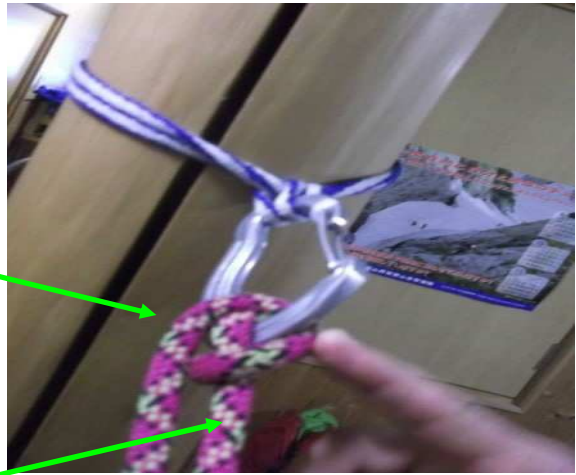


<1. 転落者の崖からの引き上げ>

確保者が事故者(転落者)を、急斜面から吊り上げる救助作業

①カラビナに半マストでロープをかける
(懸垂下降するため)



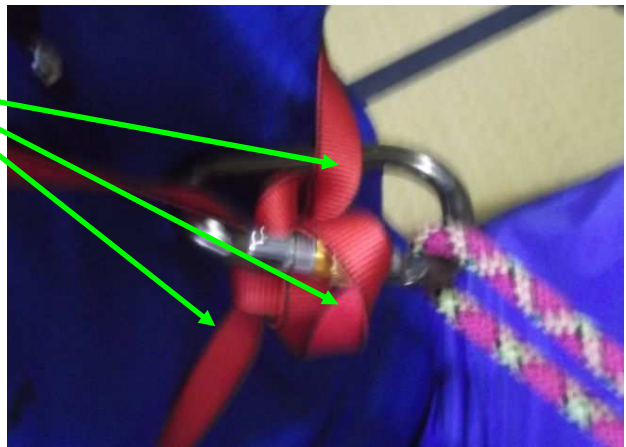
②確保者のハーネスのビレイループに8の字結びでロープをかけ、事故者のところまで降りる。

③事故者の横で、再び8の字で確保者のハーネスのビレイループに結ぶ。
(救助作業に入る前に、確保者の安全確保をするため)



④スリング(120cm以上)を使用して事故者に簡易ハーネスを作り、最後にカラビナをかける。

⑤なお、カラビナは簡易ハーネスで作った肩・腰・胸の3つループに通るようにしてかける。



⑥確保者の8の字ロープの片方を事故者のカラビナにかける。
(これで事故者の安全確保が完了)

⑦確保者はロープを伝ってビレイ場所まで戻る
(ごぼう登り)。

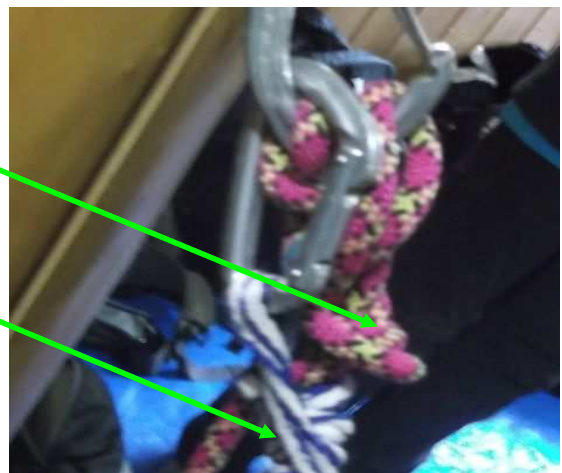
⑧確保者側のロープに事故者側のロープをカラ結びし、2本のロープが動かないように仮止めする。

⑨事故者側のロープにクレムハイストで巻き、カラビナで支点とつなぐ。

※1スムーズにロープが流れるようにΦ6mmぐらいのスリングが適切)

※2クレムハイストのエンドは短くする
(スリングの遊びを減らし、事故者の落下距離を減らすため)

※3これで仮止めと半マストを外し、メインロープを手放しても、ロープは流れていかない



⑩事故者側のロープに新しくクレムハイスト及びカラビナをセットし、確保者側のロープにかける。

⑪支店側のクレムハイスト箇所がカラビナを
通って反転しないように注意しながら
ロープを引く

⑫事故者側のクレムハイストを操作しながら
ロープを引き、事故者を救助する。



以上